



(一社) 精神障害者生活支援

とうきょう会議

協力者募集

●精神障害者生活支援とうきょう会議 協力者募集のお願い

私たちは1981(S56)年に結成された東京都精神障害者作業所連絡会（都精作連）と1997(H9)年に結成された東京都地域生活支援センター連絡会（センター連）を母体とした、精神障害者の地域生活支援に従事したり、活動をしている個人（支援者）の集まりです。東京全域を視野として精神障害のある方達の生活支援に資する活動をしています。部会活動等に協力いただける方を求めていいます。ぜひ、みなさま力を貸してください。

こんな方におすすめ

東京都全域の
精神保健福祉の
理解を
深めたい

都内全域に
横のつながりを
つくって業務に
活かしたい

部会の活動に
興味があり
企画運営に
参加したい

とうきょう会議の部会・組織

部 会：スポーツ企画部会

：研修部会

地域連携活動：東部ブロック

運 営：理事会・運営委員会

（涉外担当）：都精民協担当

：事務局

とうきょう会議は、さまざまな支援者からバトンを受け継ぎつつ、東京都の地域精神保健福祉事業の向上のため40年以上活動を続けています。ぜひ当会の活動にご協力をお願いします。

【問い合わせ窓口】

とうきょう会議事務局

E-mail:

tk-jimukyoku@tokyokaigi.or.jp

▶部会について興味のある方は、こちらからお問い合わせください



スポーツ企画部会

活動内容

- ①秋に行うバレー ボール大会企画・準備・運営 & 自主製品出店企画（東部ブロックと共同開催）
- ②春に行うフットサル大会の企画・準備・運営

アピールポイント

バレー ボール大会は今年で40回大会を迎えます。（途中コロナで2回中止）・ フットサル大会は15回目を迎える記念の年となります。

この部会の歴史は長く「東京都精神障害者共同作業所連絡会」時代から活動を行っています。参加事業所にとってはバレー ボール大会、フットサル大会が大きなイベントになっていますし、メンバー同士の良い交流の場となっています。そのお手伝いをするのが楽しいです。



部会担当者からのメッセージ

高齢化や工賃維持もあり、スポーツに取り組みにくいところはあります。少しでも興味のある皆さん、部会員募集中です。一緒にバレー ボールやフットサル大会の企画・運営をやりませんか。お待ちしております。

問い合わせ窓口

瀬川聖美（銀杏企画三丁目移行分室）

k.segawa@hongounomori.com または segawa.k@tokyokaigi.or.jp

研修部会

活動内容

- ①とうきょう会議総会企画（年1回）や事例事業例検討会・その他研修（年1回～）の企画・運営
- ②多摩総合精神保健福祉センターの研修企画への参画
- ③研修部会会議（月1回程度・原則対面にて開催）
- ④その他

アピールポイント

研修の企画から参加して、講師と直接やりとりをすることで、研修でテーマとする内容についてより広く深く理解することが出来ます。広域の部会員と話をする機会を得ることで、自分の自治体以外の情報を知ることが出来ます。

問い合わせ窓口 蓮沼和音（ガーデニング） kensyu.tokyo kaigi@gmail.com



地域連携活動 東部ブロック

活動内容

地域連携活動の一環として東部地区(13区及び島しょ)における地域ブロック活動です。

- 世話人会(1回/月)
- 研修会の企画・運営(2~3回/年)
- 社会資源マップ(東部まっふ)の作成・配布
- 地域イベント(東部まつり)の企画・運営
- 仕事ミーティング(当事者グループ)の運営
- 地域ネットワークの構築



アピールポイント

会員事業所の属する地域のニーズに沿った研修やイベントの企画・運営を行なっています。毎月の世話人会では制度や各自治体の取り組みなどの情報交換をしつつ、支援者個人や団体の相談も受け付けています。会員相互の交流の機会も増え、自然と地域ネットワークが広がっていきます。

また、世話人同士が楽しみながら研修やイベントを企画し、それらの運営を通じて将来の精神保健福祉業界に寄与する人材を育成しています。

世話人随時募集中！東部ブロックでは各自治体にある法人様の世話人派遣のご協力によって成り立っております。今後も地域ネットワークを強化し、会員事業所の困りごとの解決や、人材の育成によりお返ししてまいります！



問い合わせ窓口 中谷有希（銀杏企画三丁目移行分室）

y.nakatani@hongounomori.com

運営委員会

活動内容

運営委員会は、どうきょう会議全体の運営と活動方針等について検討し決定していく機関です。基本的に毎月1回、第4火曜日の19:00からオンラインか対面で開催しています。

どうきょう会議として行う事業の内容や、対外的な意見表明・要望等について、会員の声を集約していく場が運営委員会です。毎月の会合では、各部会の活動報告をはじめ、東京都及び国の精神保健医療福祉にかかる施策の動向や、他の民間団体等の注目すべき活動の情報が集められ、活発な意見交換が行われています。また、運営委員会直轄の事業として、これまでに以下のような企画を開催してきました。

- どうきょうキャラバン（都内各所の会員事業所を会場に交流会を開催／不定期）
- 温故知新企画（東京都内の連絡会活動の歴史を辿る連続講座を開催／2021年度）
- 滝山病院問題プロジェクトチーム（滝山病院問題にかんする検討／2023年度）
- 課題焦点型ゼミナール（支援センター部会の活動を引き継いで開催／2025年度より）
- 630調査の統計データ作成と公開に向けたプロジェクトチーム（現在準備中）

アピールポイント

どうきょう会議を活用して新しくやりたいことがある人、どうきょう会議の必要性を感じて運営に協力したい人、自分の働く事業所や区市町村の外のことをもっと知りたいと思う人など、一緒に考え、組織の運営にかかわってくださる人を募集しています。

問い合わせ窓口 鈴木卓郎（西府いこいプラザ） takuroszk@gmail.com

都精民協担当

都精民協とは・・・

・東京都精神保健福祉民間団体協議会（通称：都精民協）は、1992年7月に設立され、精神障害者やその家族が安心して生活できる社会を目指し、東京都の精神保健福祉に関する普及啓発活動や、東京都への要望活動を行っています。又、東京都社会福祉協議会の社会福祉協議会の障害者福祉連絡会の東京都精神保健福祉連絡会でもあります。現在、8つの団体で構成されており、その1つが「どうきょう会議」です。

活動内容

- ・「地域福祉推進に関する提言」：現場の声を行政に届けます
- ・「対都要望」：東京都の福祉施策に意見・要望します
- ・「都民講演会」：精神障害者の支援や理解を深めていきます
- ・「学習会」：当事者の生の声を聴いて活動に活かしていきます

●運営委員会の開催

- ・日時：偶数月の第4水曜日（年6回）、18:00～20:00
- ・形態：オンライン（zoom）

アピールポイント

当事者の暮らしを良くするための要望や、地域福祉を推進するための提言を、他団体と話し合いながら作成する業務が主です。自分の勤務する地域だけではなく、東京都全体に必要な制度施策とは何か、を考える機会を与えてくれる場もあります。どんな活動をしているか興味のある方は、運営委員会の傍聴からでも参加可能です。お気軽にお問合わせください。

問い合わせ窓口

tk-toseiminkyou@tokyokaigi.or.jp

高橋裕之（荒川ひまわり第2）・萩原紀男（ロータス）・上田広美（個人会員）

事務局

活動内容

とうきょう会議の運営に関する事務作業等をおこなっています。とうきょう会議の会員管理・運営委員会の運営と記録・総会・理事会の開催の運営とその準備等の業務があります。また、Webの管理業務やメーリングリストの管理も事務局の業務です。

アピールポイント

地味ですが、とうきょう会議の運営に必要な業務です。縁の下の力持ち的な仕事を担ってくださる方を募集します。

問い合わせ窓口

東貴宏(tk-jimukyoku@tokyokaigi.or.jp)

とうきょう会議の歴史

1981(S56)年「精神障害者共同作業所通所訓練補助金」制度開始

初年度補助金交付作業所（7か所）。あさやけ第二作業所・山彦作業所・すずしろ作業所・協立作業所・隅田作業所・みのりの家・富士作業所
(Aランク：450万円・Bランク：300万円・Cランク170万円)

1981(S56)年5月8日 「東京都精神障害者作業所連絡会」結成式。於：すずしろ作業所（練馬区）

・出席作業所（10カ所）。あさやけ第二作業所・山彦作業所・すずしろ作業所・協立作業所・隅田作業所・みのりの家・富士作業所・あとりえふあんとむ・足立作業訓練所・長崎リハビリハウス。
(その他、やどかりの里職員・練馬区家族会会員)
代表：伊藤天祐（すずしろ作業所）・事務局長：伊藤善尚

1985 (S60) 年 東京都立中部精神保健福祉センター事業開始（世田谷リハビリーションセンターを統合）

1989(H01) 年 東京都精神障害者福祉ホーム連絡会結成

1992(H04) 年7月1日 東京都精神障害民間団体協議会(通称：都精民協)正式発足 同日 東京都立多摩総合精神保健センター事業開始

1997(H09) 年 東京都精神障害者地域生活支援センター連絡会設立

地域生活支援センターまど（新宿区 | かがやき会）・地域生活支援センターこかけ（豊島区 | 豊芯会）の2カ所で設立

2001(H13) 年 東京都補助金返却問題勃発

東京都の監査により、都からの補助金を返却する事案が発生。補助金事業を実施している4団体で「とうきょう会議」を設立して対応した

2004(H16) 年 今後の障害保健福祉施策について(改革のグランドデザイン案)公表

2006(H18) 年10月1日 障害者自立支援法施行

2007(H19) 7月21日 精神障害者地域生活支援とうきょう会議設立

2010(H22) 4月23日 東京都精神障害者地域生活支援センター連絡会解散。精神障害者地域生活支援とうきょう会議に合流し「支援センター部会」となる。

2013(H25)年6月5日 とうきょう会議。任意団体を解散し、一般社団法人となる

2025(R07)年3月31日 支援センター部会が解散